高等学校の校名変更について

高校再編推進室

１　校名の変更理由

「須坂東高等学校、須坂創成高等学校の再編統合」に係る再編実施基本計画に基づく新たな高等学校の設置に伴い、校名の変更を行う。

２　新校名について

須坂東高等学校
須坂創成高等学校　} 統合　→　**須坂翔陽高等学校**（すざかしょうようこうとうがっこう）

３　今後のスケジュール（予定）

・令和 10 年 11 月議会定例会において高等学校設置条例の改正を提案
・令和 11 年４月１日施行

【参考】　新校名の選定理由等

須坂翔陽高等学校

「須坂翔陽」は、地域と４つの学科（農業科、商業科、工業科、未来デザイン科）が学科の枠を超えて連携し、地域をフィールドに地域の人々と共に学び、未来を創り成長し続ける「コミュニティデザインハイスクール」という新校の理念を象徴する名称である。

「翔」は新校で生徒が成長し、夢に向かってはばたく姿を表し、「陽」が表す光や明るいイメージが調和することで、若者が互いに高め合いながら理想に向かって挑戦を続け、明るい未来へ向かう姿を表現している。

新校で志高く学ぶ若者の輝く姿が、地域の未来を照らし、学校と地域がともに成長する願いを校名に込めた。

（別紙）

校　名　候　補　決　定　の　経　過

１　懇話会の設置　（令和３年 12 月 13 日）

（１）目的　県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため。

（２）委員　26 名で構成する。

①　地域関係者（14 名）

・地域組織代表（４）、地域産業界代表（３）、有識者（１）、地域教育関係者（２）、地域関係者（４）

②　学校関係者（12 名）

・同窓会代表（２）　・PTA（２）　・校長（２）　・職員（２）　・生徒（４）

２　校名候補決定の経緯

（１）公募

①　公募期間：　令和７年６月 19 日（木）～７月 18 日（金）

②　応募内容：　校名案と理由

③　応募方法：　応募資格の制限はなく、郵送、FAX、電子メール

（２）応募状況

①　応募件数：　675 件（中学生 473 件、小学生 27 件、高校生 88 件）

②　校名候補：　338 候補

（３）選考の観点

①校名は「長野県〇〇〇高等学校」とする。

【次の②～④のうち、１つ以上が含まれていること（すべて含めてもよい）】

②新しい学校で、生徒が未来に向かって成長していくという学校像が表現されている。

③４つの学科の連携や「地域の人々と共に学び、共に未来を創る」という新校の理念が表現されている。

④「地域を学びの場に成長し続ける高校」という学校の姿が表現されている。

（４）一次選考

①　両校事務局で審査し、338 の校名候補から県内同名校等を除いた 213 の候補を一次投票の対象とした。

②　懇話会構成員が、213 の校名候補から３案を選ぶ一次投票を実施。

③　懇話会において、一次投票の結果を踏まえた意見交換を行い「須坂共創」「須坂翔陽」「須坂創進」「須坂拓凌」「須坂未来ケ丘」「須坂未来の杜」の６案を二次選考の対象とした。

（５）二次選考

①　二次選考の対象となった６つの校名候補に対し、県教育委員会が商標権等の調査を行い、すべてが権利上問題がないことを確認の上、二次投票の対象とした。

②　懇話会構成員が、６つの校名候補から１案を選ぶ二次投票を実施。

③　懇話会において、二次投票の結果を踏まえた意見交換を行い、懇話会として「須坂翔陽」を校名候補とすることを決定した。

３　校名選考の検討経緯

（１）第 17 回懇話会（令和６年９月９日）

○　選考の観点と選考方法について意見交換

（２）第 18 回懇話会（令和７年１月 28 日）

○　選考の観点、選考方法、公募について意見交換

（３）第 19 回懇話会（令和７年４月 24 日）

○　校名募集要項の検討
○　校名選考のスケジュールの検討

（4）第 20 回懇話会（令和７年 10 月 31 日）
○　公募結果の報告
○　一次投票結果の報告
○　一次選考を実施

（5）第 21 回懇話会（令和８年１月 28 日）
○　二次投票結果の報告
○　二次選考を実施し、「長野県須坂翔陽高等学校」を校名候補として選定
○　「須坂翔陽」に対する懇話会での意見
・特定性、普遍性、独自性がある。
・生徒一人ひとりが未来に向かって羽ばたく、生徒が主役のイメージがある。
・中学生、高校生の意見を取り入れたい。（※参考参照）

４　「須坂翔陽高等学校」を選定した主な理由

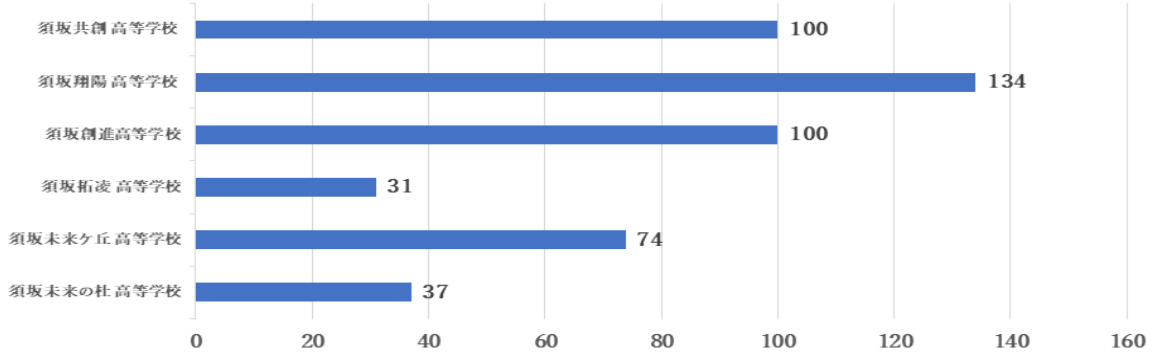
「須坂翔陽」は、地域と４つの学科（農業科、商業科、工業科、未来デザイン科）が学科の枠を超えて連携し、地域をフィールドに地域の人々と共に学び、未来を創り成長し続ける「コミュニティデザインハイスクール」という新校の理念を象徴する名称である。「翔」は新校で生徒が成長し、夢に向かってはばたく姿を表し、「陽」が表す光や明るいイメージが調和することで、若者が互いに高め合いながら理想に向かって挑戦を続け、明るい未来へ向かう姿を表現している。新校で志高く学ぶ若者の輝く姿が、地域の未来を照らし、学校と地域がともに成長する願いを校名に込めた。

【参考１】　中学生アンケート結果

(1)　対象　須坂市内４校の中学校１、２年生（在籍 917 名）

(2)　回答　382 人（41.6％）

(3)　結果　　複数回答可（票）



【参考２】　高校生の意見　生徒構成員４名

①両校生徒会による取組
・生徒会役員による話し合い
・校内掲示板を通じて生徒の意見を集約

②懇話会での生徒構成員の意見
・須坂翔陽が校名としてふさわしいと思っていた。
・須坂翔陽がいいと思った。
・翔陽がいい。新校に入学してくる中学生の意見で「翔陽」が一番多い。
・中学生のアンケートで多かった翔陽がいいと思う。自分たちが通う学校をしっかり考えて決めていることがいい。